

「福島ライダーズナビ」

ツーリングライダー大歓迎

トップを目指す
ワンストップ
窓を指す

福島県では、二輪のツーリングライダーは以前にも増して訪勢を強調している。その窓口となるのが「福島ライダーズナビ」(以下、ライダーズナビ)で、最近では二輪専門誌にも多く取り上げられている。

福島県は昨年の東日本大震災の影響で観光客が激減した。特に、県外ナンバーの自動車を見るのが少ない。そこで、福島県の外郭団体である福島県観光物産交流協会の中で、震災復興事業として昨年11月に、ライダー誘客事業として「RIS E福島」(立ち上る福島)をキャッチフレーズに、まずライダーズナビのホームページを立ち上げ

ライダーズナビを担当する半谷梢さん。半ちゃんの愛称で人気拡大中



特製ステッカー

実質的な事業展開を開始したのは今年3月から。ライダーズナビの担当責任者は、同交流協会・観光

部国内誘客推進課の半谷梢(はんがい・こずえ)さん。半谷さんは、「RIS E福島」PR部隊として、自らPRマスコトも務め最前線を飛び回っていることもあって、半ちゃんの

愛称で、ファンも拡大中である。

半谷さんは、「RIS E福島」は、ライダーと福島県民の絆をもっと強くし、ライダーの皆さんとともに復興へと立ち上がる気持ちを含めたものです。そこで、ライダーズナビはライダーの皆さんのための『ワンストップ窓口』を指しています。ここで、ライダーの要望をすべて叶えるようにしたいと考えています。そして、ここからたくさん新しい情報を発信し、もっと多くのライダーに福島にきてもらおうつもりです」と語る。

ライダーズナビでは、ウェブコンテンツとして▽地元ならではのツーリングルート、道路情報(観光有料道路の無料開放)▽二輪関係の施設情報、イベント情報▽ライダー向け特典のある宿、観光施設紹介▽有名ライダーからのメッセージ

▽自慢の愛車と福島の風景を写した画像投稿コーナー——など掲載している。

また、県内に12カ所の「ライダーズピット」を立ち上げている。ライダーが立ち寄った際、地元ならではのツーリングやグルメなどの生の情報をその場で実際に聞くことができるのがライダーズピットである。ピットはレストランやカフェが中心だが、最近では体験農園などもピットとして参加している。ピットには必ずライダーがいる。

さらに、ライダーズ企画として、オリジナルグッズなどのプレゼントも企画している。ライダーズピットを訪れたライダーには、オリジナルステッカー(地域によりカラーは3種類)をプレゼントしている。このほかフォトコンテスト(8月31日締切)や特典付きキャンプ特集(10月31日まで)など、イベント企画を

今年の「バイクの日」スマイル・オン2012」の会場(東京・渋谷)で、タレントのなすびさんと福島県のPRを行った



実施している。

ライダーズナビのように自治体側から「二輪ライダー大歓迎」の旗を振ってくださるの、二輪業界としてうれしい話である。福島をツーリングで訪問するところが震災復興に繋がれば、ライダーとしても喜びは2倍になるといふこと。さあ、二輪業界も福島へのツーリングの機会を増やすことに協力したいものだ。